



# 学校開校二周年式典開催

本当にどうもありがとうございます。今後とも在宅復帰を支援するよりよい学校で居続けられるようスタッフ一同頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

(文責 森夕子)

平成23年10月10日 おとなの学校岡山校の開校二周年記念式典が開催されました。森崇文校長の挨拶では、学校になったいきさつや今後のビジョンなど、スライド形式で分かりやすく説明がありました。また校歌を作詞作曲下さった赤田直道先生、江見恭彦先生にもご来校頂き、お祝いのお言葉を頂きました。江見先生自ら、ピアノ伴奏がありバイオリン伴奏も加わった上での、一同で歌った校歌は、より一層輝いたものになりました。ピアノやバイオリンによる演奏があったり、長時間にわたる式典でしたが、入所者の皆さんが、すばらしく集中して、観客として盛り上げて下さったので、とてもステキな式典にする事が出来ました。

# おとなの学校新聞



津山市日本原 352  
0868-36-3390



(前回に続く)

## おとなの学校 Q&A

Q7. 学校の成果発表会とは、どのようなものですか？

今までの生活暦、趣味を考慮した上で、入所後出来るだけ早めに成果発表会でのテーマを決めます。今までは、カラオケの披露やお琴の演奏、切り絵や張り絵、パズル、俳句など色々披露して下さいました。入所中の生活の感想文を披露下さった方もおられます。ご家族との絆を大切にしていますので、ご家族には招待状を出し、出来るだけご覧頂けるようにしています。まさに、参観日になっています。



式典後は、皆でケーキバイキングをしました。糖尿病の方でも、高血糖を気にする必要がないと知られるケーキを用意し、皆から好評を得ていました。



成果発表会

今回は、10月21日に行なった成果発表会の様子をお伝え致します。10月の成果発表者は4名です。それぞれのテーマは「体調管理」「施設での生活」「趣味の話」などになっています。テーマをみると3ヶ月間どのように過ごされてきたかの様子が伺えます。ひとりひとりが舞台上上がり、発表して頂くことで、学校での生活に目標とやりがいが出た、在宅への意欲も強くなっていきます。成果発表をされる方々の能力に驚かされる事もよくあります。ただそれは『高齢者イコール出来ない、出来なくて当たり前』という固定観念に私達スタッフ自身が、まだとらわれているのだと反省しています。

発表会を通して気づかされる事は、スタッフはもとより、ご家族にとっても多いので、成果発表会は、とても大切な会になっています。成果発表会は見学も可能です。月に一度は、必ず行なっています。詳しい日時は学校スタッフにお気軽にお問い合わせ下さい。

### 次号予告

Q&Aの続きと秋の収穫の様子